一般社団法人 神奈川県作業療法士会

県士会ニュース

No. 211 [2021.10]

Kanagawa Association of Occupational Therapists — KAOT —

Contents

TOPIC
2 新理事あいさつ
1 巻頭言
3 2021 年度 6 月度理事会 部員承認リスト
5 理事会議事録
6 公益法人格取得への道
6 会長の部屋
7 各部からの報告
10 訃報
10 事務局からのお願い
10 編集後記

巻頭言 | WEB学会ならではの価値

第18回作業療法学会実行委員会事務局

第 18 回神奈川県作業療法学会は前回のニュースのお知らせした通り WEB 上開催となったことに合わせ、内容的に大きく変更になった点が御座います。ここでこの変更についてお知らせ致します。

まず大きな点として 12/4（土）に加え前日の 12/5（日）も含めた 2 日開催となりました。2 日にわたり余裕をもって特別講演、シンポジウム、一般演題（一部）を LIVE 配信で公開します。リアルタイムでの配信により WEB 上での学会ながら、臨場感を感じて頂けると考えております。

もう一点大きな変更として E -lecture と題した WEB 上教育講演を学会当日を先取りし、11 月中旬からのアーカイブ配信となる点です。事前収録され、その内容を WEB 学会終了までの期間、何度でも見て頂けるように致します。その他の講演も 12/4 以降順次、アーカイブ配信を予定しています。

今回は新型コロナウィルスと感染拡大に伴う措置として WEB 学会となりましたが、運営事務局では会場でのリアルな学会とは異なる WEB 学会ならではの価値があると考えております。それは誰でもどこにいても参加出来ること、そしてコンテンツを見たいときに繰り返し見られる良さであると思います。週末に業務のある方、子育て中の会員の方など、会場にお越しになりにくい方への参加のハードルを下げると共に、時間も気にせず自己研鑽が出来るということは素晴らしいことなのでは無いでしょうか。

このような価値をもって皆さんにも満足して頂ける学会にしてゆけるよう、引き続き準備を進めて参ります。

【予定一覧】

12／4（土）：

10：00 ～開会式、シンポジウム 1「多様な学生にどのように向き合えば良いか」
シンポジスト：昭和大学・鈴木憲雄先生、北里大学・髙橋香代子先生、横浜市大付属市民総合医療センター・坂本安令先生

13：00 ～特別講演（LIVE 配信） 国際医療福祉大学 荻野美恵子先生
「多様なニードと向き合う～終末期の現場から患者は何を願うのか～」

16：00 ～一般演題 1（LIVE 配信）60 分

12／5（日）：

11：00 ～一般演題 2（LIVE 配信）60 分

13：00 ～一般演題 3（LIVE 配信）60 分

14：30 ～シンポジウム 2「患者に触れることによる多様な気づきと治療戦略」
シンポジスト：重症児医療施設ソレイユ川崎・岸本光夫先生、神奈川県立保健福祉大学・玉垣努先生、JCHO 湯河原病院・松田哲也先生

★ LIVE 配信に関しては 12 月 5 日（日）以降、順次アーカイブ配信予定

閉会式

【12/4（土）よりアーカイブ配信】

教育講演 1：東京都立大学・大嶋伸雄先生
「作業療法士の power tool としての作業療法カウンセリング―多様性と向き合う作業療法を支える基盤として―」

教育講演 2：聖隷クリストファー大学・細田直哉先生
「子どもの多様性を育む保育環境のアフォーダンス ―生態心理学の視点―」

教育講演 3：神奈川リハビリテーション病院 松田健太先生
「多様な患者のニーズと向き合うリハエンジニアの役割 ―3D プリンタ等を活用した支援―」

【11 中旬よりアーカイブ配信】

E-lecture1：神奈川県立保健福祉大学・長山洋史先生、東神奈川リハビリテーション病院・井上那築先生、湘南慶育病院・武田大勢先生、横浜市立大学附属病院・新美彩花先生
「リアルワールドデータから導く新たな作業療法研究の可能性」

E-lecture2：国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域・司法精神医療研究部・川口敬之先生
「精神障がいをもつ人のリカバリーに向けた作業療法実践ポイント～大切な作業と生活の困難さの共有に基づく協働～」

E-lecture3：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院・佐々木祥太郎先生
「COVID19 と作業療法 ―急性期病院の立場から―」

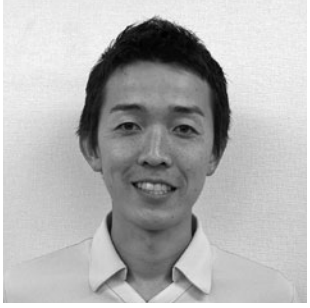
E-lecture4：横浜市立大学附属病院・上羽航先生、東戸塚記念病院・渡嘉敷淳先生
「活動における運動と知覚」

【第 18 回作業療法学会 事前登録のおしらせ】

第 18 回作業療法学会の参加方法についてはサイトに公開されています。お得な事前登録も準備しておりますので是非チェックの上ご参加御登録下さい！！

参加登録期間：10 月中旬頃より開始予定、詳しくは
第 18 回作業療法学会 WEB サイト
https://kana-ot.jp/wpb/kotc18th/

新理事あいさつ



さがみリハビリテーション病院
広報部 理事

佐藤 隼

今年度より理事を務めさせていただきます佐藤隼と申します。これまで県士会の活動には広報部と地域リハビリテーション部の部員として、地域で暮らす県民すべての方に作業療法士が身近で役立つ存在であるよう様々な事業に参加させていただきました。また、臨床作業療法大会や WFOT の運営委員、介護ロボット事業への参加、地域リハビリテーション三団体協議会委員など、大変貴重で学びの機会となる経験も多くさせてもらいました。このような活動を通して生活に寄り添う作業療法士の存在意義を感じながら、一方で県民の方に作業療法の役割・成果を表現することの難しさにも直面してきました。

この度、前任広報部であった神保新会長より広報部担当の使命をいただき、かねてからも県士会の発展においては広報戦略が重要であることを伺っておりましたので、非常に大きな責任感を感じております。現任のニュース編集班・対外広報班の心強い部員の皆さまや一人ひとりが広告塔である会員皆さまのパワーを集結して、誰もがワクワク元気になれる作業療法を発信していければと思います。会員に有益な情報をお届けする『県士会ニュース』の発行や県民・多職種との交流機会となる各種イベントへの参加だけでなく、今期からは養成校学生向けの県士会紹介や広報媒体としての SNS 活用に向けた環境整備など、新しい時代に即した働きかけにも注力していければと考えております。皆さまのお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

日本鋼管病院
認知症対策委員会 理事

望月 強併

はじめまして。

この度、神奈川県作業療法士会の理事となりました、望月強併と申します。

2013 年に作業療法士となり、川崎市にある日本鋼管病院勤務し現在で 9 年目となりました。

私はこれまで、あまり県士会活動には関心もなく、働いてきましたが、勤務先の上司でもあり、前神奈川県士会の会長でもある錠内先生よりお話をいただき、2020 年に開催される予定でした、神奈川県臨床作業療法大会の実行委員長として、県士会活動に参加し始めました。

臨床大会は COVID-19 の影響により開催は出来ませんでしたが、今後も県士会活動に参加したいと思い、今年度から理事として参加させていただいています。

担当部署としては、認知症対策委員会の方を担当させていただいています。認知症の方に対してはどうしても対面での活動が重要となってくるため、現在の情勢から活動が中止となっているものが多い状況です。COVID-19 が落ち着いた状況からのアプローチが重要になってくるのかと思っています。

神奈川県士会の発展のため、皆様のお力をお借りしながら、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

2021年度6月度理事会　部員承認リスト

【事務局】

37304　黒木裕介　葉山ハートセンター（事務局次長）
49922　齊田浩彰　湘南鎌倉総合病院

【財務部】

58330　田中達也　横浜なみきリハビリテーション病院
68817　須﨑可奈子　町田慶泉病院
71741　吉田夏海　横浜旭中央総合病院

【学術部】

（スキルアップ研修会班）
39242　林慎也　えびな脳神経外科
16894　田中秀和　イムス横浜狩場脳神経外科病院
55543　井上那築　済生会東神奈川リハビリテーション病院
71025　山本恵利香　北里大学病院
41122　梶原真樹　新横浜リハビリテーション病院
81765　中黒早絵　神奈川リハビリテーション病院
78544　加世田翼　洋光台中央整形外科
10020　西前英紀　藤沢病院
27252　川口敬之　自宅会員
33785　江川純香　国府津病院
40964　斎藤梢　訪問看護ステーションみのり横浜
72380　葛岡哲　チームブルー訪問看護ステーション
84204　中村早慧　自立訓練施設みずき
（研究助成事業班）
20976　石川哲也　済生会神奈川県病院
28090　佐々木洋子　聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
41608　宮崎道輝　北里大学病院リハビリテーション部
（学術誌編集部班）
2093　鈴木久義　昭和大学保健医療学部作業療法学科
29078　渡部喬之　昭和大学横浜市北部病院
64520　嘉部匡朗　昭和大学横浜市北部病院
44521　青木啓一郎　昭和大学保健医療学部作業療法学科
65539　内堀謙吾　昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

【広報部】

（広報班）
40825　山本潤　国際医療福祉大学 小田原保健医療学部作業療法学科
（対外広報班）
13168　清野由香里　自宅会員
31678　水野友和　江田記念病院
50604　羽毛田佳代子　さがみリハビリテーション病院
10095　矢野智恵美　えびな脳神経外科
54777　有田健吾　横浜新都市脳神経外科病院
68095　原萌夏　横浜新都市脳神経外科病院
50592　福島ひとみ　株式会社スタートライン
54181　丸井智子　佐藤病院
21253　花形真　鶴川サナトリウム病院
35200　天野沙織　さがみリハビリテーション病院
53912　額谷文太　さがみリハビリテーション病院
34219　竹村祐樹　相原病院
（ニュース班）
14373　出口弦舞　国際医療福祉大学 小田原保健医療学部作業療法学科
65285　丸岡ちひろ　済生会横浜市東部病院
69171　松井洋鷹　渕野辺総合病院
57724　佐藤愛　株式会社 悠の木
65734　安田優子　横浜旭中央総合病院
77515　岩居洋輝　佐藤病院
67541　碇屋瑛理　佐藤病院

【福利部】

68817　須﨑可奈子　町田慶泉病院
47893　山口悠里　金沢病院
51979　明立早香　自宅会員
51567　玖島弘規　横浜旭中央総合病院（オブザーバー）

【地域リハビリテーション部】

10802　渋江拓郎　えびな脳神経外科
53831　札野優　桜ヶ丘中央病院
46287　中島恵美　鶴巻温泉病院
14715　佐藤麻裕子　大船中央病院
34347　坂内大祐　川脇市立川崎病院
72008　渡辺圭祐　国際医療福祉大学熱海病院
18708　森木勇一郎　介護老人保健施設都筑シニアセンター
49782　増子拓真　TASUC 株式会社
68726　庄司薫　TASUC 株式会社

69716　重森七美　介護老人保健施設ハートケア湘南・芦名
71805　宍戸真帆　なのはな訪問看護リハビリステーション
25811　西浦淳一郎　横浜病院
63274　早川大貴　ふれあい鶴見ホスピタル
24862　原島淳　川崎市総合リハビリテーション推進センター
76621　岡本航生　株式会社彙生活ケア・リハビリここち
59761　村田明穂　鶴巻温泉病院
33465　初鹿真樹　アコモケアサービス株式会社
65285　丸岡ちひろ　済生会横浜市東部病院
53821　佐藤範明　昭和大学附属烏山病院
25580　佐藤隼　さがみリハビリテーション病院

【制度対策部】

24169　沼田一恵　自宅会員
5544　山根剛　茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
35610　渡邉隼人　さがみリハビリテーション病院
41859　宮田和典　横浜なみきリハビリテーション病院
69643　木村亮介　リハリゾートわかたけ
56699　加藤結花里　よみうりランド花ハウス
62812　髙吉亮平　横浜労災病院
17632　川辺均　茅ケ崎新北陵病院
52348　長井美奈子　横浜市総合リハビリテーションセンター
46798　仁田憲司　茅ヶ崎新北陵病院
54917　山﨑あゆみ　鎌倉訪問看護ステーション
67543　郷康人　イムス横浜狩場脳神経外科病院
29971　濱口陽介　川崎市中部リハビリテーションセンター
62985　岸貴雅　藤沢病院
70147　渡辺謙斗　横浜なみきリハビリテーション病院
53920　奥村容子　国府津病院
16729　西則彦　横浜市総合リハビリテーションセンター

【規約委員会】

7461　名古屋和茂　横浜 YMCA 学院専門学校
46173　生出太郎　新緑訪問看護ステーション長津田
71713　中山淳　鶴巻訪問看護ステーション

【ウェブサイト管理委員会】

5577　作田浩行　昭和大学保健医療学部作業療法学科
16527　甲本夏穂　国際医療福祉大学小田原保健医療学部
16879　福嶋祐子　うしおだ訪問看護ステーション
45593　清水拓人　鶴巻温泉病院
58715　浅井翔伍　株式会社ワイズ脳梗塞リハビリセンター
74561　百瀬あずさ　㈱ライフデザインダリア訪問看護ステーション能見台

【学会評議委員会】

5068　内山博之　横浜リハビリテーション専門学校
56764　荻野祥代　横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
29971　濱口陽介　川崎市中部リハビリテーションセンター
50232　小林千裕　千の風・川崎
48437　岩切美帆子　中野区療育センターゆめなりあ
41915　加藤直樹　横浜医療福祉センター港南
59762　松井亜沙美　北里大学病院
60021　関口佑　川崎市中央療育センター
11704　一木愛子　神奈川県総合リハビリテーション事業団　地域リハビリテーション支援センター
36498　前場洋祐　北里大学医療衛生学部 リハビリテーション学科作業療法学専攻
56799　小柳俊介　菊名記念病院
30745　佐々木秀一　北里大学病院（オブザーバー）
5468　奥原孝幸　神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部（オブザーバー）

【公益法人化対策委員会】

5706　村越妙美　介護老人保健施設樹の丘

【生活行為向上マネジメント推進委員会】

35610　渡邉隼人　さがみリハビリテーション病院
34442　村仲隼一郎　茅ヶ崎リハビリテーション専門学校

【認知症対策委員会】

10306　小澤隆　ケアーズ小田原堀之内訪問看護リハビリステーション
48980　山口拓也　鶴巻温泉病院
57322　森山康平　鶴巻温泉病院
63908　弘中優子　鶴巻温泉病院

【地域包括ケアシステム推進委員会】

30581　木下剛　湘陽かしわ台病院
34217　池嶋孝二　ほほえみ訪問看護リハビリステーション
39831　片岡直人　カーサプラチナ日吉
42418　吉田倫子　国際親善病院

【エリア化推進委員会】

53530　小泉善久　サポートライフ・結
23256　藤崎咲子　介護老人保健施設ライフプラザ鶴巻

理事会議事録

★ 2021 年度第 1 回理事会　議事録 2021 年 6 月 17 日

日　　時：2021 年 6 月 17 日（木）19：00 ～ 21：29
場　　所：オンライン開催のため各自自宅・職場
出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、金山桂（副会長）、吉本雅一（事務局長）、玖島弘規、佐々木秀一、奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、野本義則、神田崇央、佐藤範明、戸塚香代子、木村修介、望月強併、澤口勇、西川航平、大郷和成（18 名）
出席監事：錠内広之、野々垣睦美（２名）
その他出席：松田哲也（第 18 回神奈川県作業療法学会 学会長）

Ⅰ. 会長より挨拶

1. 三役会と理事会の役割について
三役会：会長・副会長・事務局長が集まる会。事業、企画調整を行う。
理事会：各事業の進行報告、審議決定。
2. 中・長期計画
現行の計画を継続して実施。成長戦略を会員に示せるようにする。効果判定し次計画検討を行う。

Ⅱ. 第 18 回神奈川県作業療法学会について

1. 松田学会長より学会運営方法について説明
新型コロナウィルス感染拡大による社会情勢を踏まえて開催方法を再検討。
E レクチャー、教育講演、シンポジウムは Vimeo を中心に配信。県民公開講座は配信方法を検討。
一般演題は PowerPoint 音声付を使用し発表。一部リアルタイム発表もしくは質問会を検討。
各種配信は参加者が参加しやすい日程や時間を検討調整。
公開講座の広報は県士会ホームページとニュース封入チラシ（正会員による広報）にて行う予定。
2. ハイブリット学会開催を中止しウェブ学会マンスリー開催とする提案の審議→承認

Ⅲ. 報告事項について（各部署・理事・三役）

1. 広報部　佐藤隼理事
（1）働くことについての学習　講師派遣依頼について
相模原市の中学校へ講師として当会正会員を派遣する。今後も同様の依頼がある場合は対応する。
（2）養成校に対する広報について
今年度は最終学年の学生を中心に県士会活動の広報を行う。
（3）SNS を活用した広報について
SNS を活用し活動を広報する。マニュアル整備や情報保護規定など関係各部署とも連携して協議作成する。
2. 教育部　奥原理事・金山副会長
（1）研修会開催等の再検討について
参加資格確認、受付方法、会計書類、研修会開催予定・終了報告書類などマニュアルの再整備が必要。
→金山副会長をリーダーとして「研修会ワーキンググループ」を発足。各課題について検討する。
（2）県士会事業への参加条件について
日本作業療法士協会が検討している協会員＝県士会員の影響を視野に入れていく必要がある。県士会会員であることは必要な条件であるが多様な人に参加してもらうことも併せて検討する。
3. 福利部　金山副会長・玖島理事
（1）新入会員オリエンテーション終了報告について
オンラインによる初開催。参加者 21 名。アンケート結果では時間・方法は好評であった。
4. 学術部
（1）新人向け研修会（2021.6.13）開催報告について
参加者 77 名（うち非県士会員・協会員 15 名）。終了後県士会非会員のうち 3 名入会あり。
各部署研修会でも非会員の参加はある。新入会を推進する方法を研修会ワーキンググループで検討する。
（2）学術誌編集長の交代について
任期満了のため編集長を新たに選任。
5. 事務局
（1）科学的介護情報システム（LIFE）の説明会について
制度対策部沼田一恵氏が県士会代表として出席予定　理事会で報告予定
（2）日本作業療法士協会、行政、他団体からの周知事項について」
県士会ホームページには制度対策部ブログサイトに掲載する。
6. 澤口理事より
（1）リハビリ手帳作成委員会 POS 合同会議について
リハビリ手帳の目的、活用範囲・方法を検討中。全世代・全障害を対象として備忘録とせず他職種などにリハビリテーションを周知する内容として継続審議。

Ⅳ. 審議事項について

1. 各部署部員・委員承認について
* 別紙参照
2. 顧問承認について
渡邉眞一氏→承認

Ⅴ. 提案事項について

1. 選挙について
田中副会長、金山副会長をリーダーとして神田理事、木村理事にて「選挙ワーキンググループ」を発足。選挙方法、選挙管理委員会の位置づけと運営等について再検討し理事会で報告提案する。
2. 社員総会における代議員の質問について
地域における作業療法士の活動をどのように支援していくのかについて、田中副会長をリーダーとしてワーキンググループを発足。地域リハビリテーション部、地域包括ケアシステム推進委員会、エリア化推進委員会を始め関連部署で検討。
3. 監事より
定款の変更など県士会の課題を解決するために必要に応じて臨時社員総会開催も視野に適正な対応をお願いしたい。各部署の連携を継続しながら各事業を進めてほしい。

以上（文責：吉本 雅一・金山 桂）

公益法人格取得への道

全国の地域特性（OT以外の職能団体の特徴など）から見えてくる公益法人化の重要性

公益法人化対策委員会　澤口 勇

全国 47 都道府県士会のうち、実際に公益法人格を取得している県士会数を皆さまはご存じでしょうか？意外とまだ少ないのですが、その数字だけでは見えないことがあります。今号では各県における OT 以外の職能団体の法人格取得率はどうかなどを踏まえ当会の公益化の重要性を皆さんと一緒に考えたいと思います。先に答えを申しますと、令和３年８月現在、公益法人格を取得している県士会は（各県士会の HP より確認）、北海道／茨城／新潟／石川／静岡／愛媛／福岡／大分の８県です。ではこの８県で共通する点がありますが何だかわかりますか？県名を眺めていても中々わからないと思いますので正解です。実はこの８県では OT 以外の他職種（医師、看護師、PT、栄養士など）もすべてが公益法人格を取得（各団体の HP より確認）している地域でした。さらには茨城／石川／静岡／福岡／大分などは薬剤師や歯科衛生士、MSW、PSW などのパラメディカルも公益法人格や一般法人、NPO を持つ地域でした。よって、このような視点から「現在の各 OT 県士会で一般社団法人格ではあるが、OT 以外の同県内の他職能団体で公益法人格を取得している県はいくつあるか」数えてみると 19 県ありました。神奈川県士会はこの 19 県の中に含まれます。神奈川県内において公益法人格を取得しているのは OT 以外の PT、医師、看護師、薬剤師、栄養士、放射線技師、臨床工学技士、社会福祉士などの各会です。ちなみにこの 19 県の県士会 HP から組織図などを見ると「事業部」などがあり何かしら「公益事業」を取り組まれていることも改めて確認できました。公益化した県に都市部が少ないと気づかれた方は正解です。実は都市部は高齢化率などがまだ低いからですが、それは時間の問題で、地方の動きはやがて都市部に来ます。

もともとの公益法人制度は一つで日本でも 100 年以上は続いてきたのですが、平成 12 年 12 月の「行政改革」の流れで『民間公益活動の推進』などが柱となり平成 20 年 12 月に新公益法人制度が施行され、平成 25 年 12 月までの間に「一般法人」か「公益法人」を選択することになったのですが、自治体から見ると「一般法人」はいわば民間企業と一緒で許認可のみで設立でき、のちに行政から予算執行等の経過提出を求められることもなく、事業の対象も「不特定多数」を求められていません。言わば各団体の自由はあります。従い、偏りもあるでしょう。しかしながら「公益法人」は事業の対象を制度上はっきりと『不特定多数かつ多数の者の利益の増進に寄与すること』と明確に定められ、毎年予算執行状況を所管に提出する義務があります。

昨今、各自治体も『公益性を担保するであろう職能団体（基準は新公益法人制度）』に市町の医療計画や障害福祉計画の一端を担わせるようになっており、公益化を先行した８県士会は公益化した他職能団体に遅れを取らないよう他団体からの信用回復とＯＴ士会としての社会的信用を市民より得るために公益化を取得したと考えました。

なお参考までに他職種の各県内単位での団体としての公益法人化率を HP などから調べたところ、医師と看護師、栄養士は全ての各県単位で公益法人格を取得しておりました。この３職種で私が頭に浮かんだことは市町に設備の整った病院や診療所のない古き時代の頃から患者さんや市民の命と健康を守る取り組みをしてきた職種であり、各団体もその責務を感じ日々努力されており、尊敬の念を覚えました。

当会が所在する「神奈川県」ではＯＴ職以外の職能団体はほぼ「公益法人」に移行しました。我々は現状の「一般法人」のまま今後も各自治体や市民からの期待に答え続けることができるでしょうか？その証拠を担保するのは「公益化」が明確です。ＯＴのエビデンスが必要なように団体としての照合が「公益化」なのかもしれません。

『会長の部屋』へ　ようこそ。

このコラムは、会員の皆さまと“繋がる場を持ちたい”という希望のもと設立致しました。とは言うもの、何で繋がるのでしょうか。お互いが見えないと上手い具合に繋がりませんよね。そこで、まずは、県士会の中身を皆さまに『会長の部屋』で可視化して伝えていきたいと思います。さて、県士会ってどんな人がいるのでしょうか？

現在の県士会は、2021 年５月 23 日に新体制となり、急ピッチで色々と整備してきました。まずは、前体制までの４ヶ年計画を継承し、今年度から新たに『未来の OT 達へ向けた土台を構築するための計画（成長する県士会計画）』を進めていきます。その土台作りに欠かせない実行目標として「会員の知識・技術向上」「組織強化と整備」「地域に密着した作業療法展開」を挙げ、理事 18 名、監事２名で力を合わせることになりました。会長を筆頭に２名の副会長、そして事務局長を三役と称した４名は、当県士会の各事業方針の確認や業務調整、OT 協会や他士会、他専門職団体との各種事業の内容共有や連絡調整等を行ったり、県・市町村・各種団体からの依頼や問い合わせに対応したりと大忙し。三役を除く理事 14 名は、それぞれが部長・委員長として現場レベルで会員と触れ合い、皆のキャリアアップや成長を支えるために尽力を注いでいます。監事は組織の御意見番。そして、横浜関内にある県士会事務所には３名の事務員が効率的に県士会運営をバックアップして下さっています。感謝々々です。2021 年９月現在、約 2,400 名の登録会員たちに県士会は支えられておりますが、未登録の OT も実のところ多いようです。一緒に神奈川県の OT の将来を考えていきましょうよ。会員登録してみませんか。お待ちしております。（会長：神保 武則）

＼各部からの報告／

▶教育部

（文責：奥原 孝幸）

連載！「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」★県士会ウェブサイトから質問ができます！

このコーナーは、県士会教育部関連の情報を毎号ご案内しています。教育部では OT 協会の生涯教育制度に関する事業を主に展開しています。認定作業療法士、専門作業療法士は、OT 協会の生涯教育制度の中での認定資格です。皆様のキャリアの中の一つとして、ぜひとも取得を目指してください。経験者の方でも今さらではなく、取得を目指して受講されている方も増えてきています。

生涯教育制度に関する研修会開催に関して

今年度、以下のように開催する予定です。開催方法は、全て Zoom 開催を予定しています。

内容や申し込み方法等の詳細は県士会ウェブサイトに掲載しています（一部の研修会では、日時だけで詳細は検討中のものもあります）ので、ご覧ください。お申し込み、ご参加をお待ちしています。

1．現職者共通研修

①令和３年 10 月 10 日(日)「作業療法生涯教育概論」、「日本と世界の作業療法の動向」、「事例報告と事例研究」、「保健・医療・福祉と地域支援」

②令和３年 11 月 13 日（土）「作業療法の可能性」、「作業療法における協業・後輩育成」、「職業倫理」、「実践のための作業療法研究」

③令和４年３月６日（日）「事例検討」・「事例報告」（事例検討会）

2．現職者選択研修

①令和４年２月 13 日（日）身体障害領域

②令和４年２月 27 日（日）精神障害領域

3．臨床実習指導者講習会

①第１回　令和３年 11 月６日(土)～ 11 月７日(日)

②第２回　令和3年12月18日(土)～12月19日(日)

③第３回　令和４年１月 22 日(土)～１月 23 日(日)

④第４回　令和４年２月５日（土）～２月６日（日）

4．事例報告登録制度研修会

本研修会は事業計画に入っているが、本年９月末にて OT 協会の事例報告登録制度が終了するため、本制度啓蒙と推進のための本研修会は開催しないこととしました。

ご不明の点はどんなことでもご連絡ください。
教育部　奥原 孝幸（神奈川県立保健福祉大学）
046-828-2738（直）、okuhara-sp8@kuhs.ac.jp
県士会ウェブサイトからも質問ができます。

▶ウェブサイト管理委員会

（文責：佐藤 範明）

県士会サイト スペシャルコンテンツ紹介

県士会サイトでは様々なコンテンツが存在していますが、そんな中でも「スペシャルコンテンツ」が複数あります。今回はその内１つの【明解、納得、県士会。】を紹介します。本コンテンツは、「“？が！に”県士会がわかるページ」となっています。「県士会」とはどういった組織なのか？「会員」になるってどういうこと？といった、皆様が抱いているであろう「県士会のハテナ」の解決に役立つ情報を載せています。

県士会に入会したけど、意外と県士会の本質的な目的や意義を知らない場合もあるかと思います。また、入会しているけど会費の支払いがどのように活用されているかも簡単に理解出来ます。皆様が入会している団体だからこそ、是非県士会の役割や目的を知った上で一緒に県士会を創りあげていきましょう。

本コンテンツではよこ太、ハマ子、大仏先生による説明と共に、サイドストーリーとして１コマ・４コマ漫画もあります。また、コンテンツ内の「県士会で仕事をするわけ」では理事・監事・委員の方々の県士会活動の魅力ややりがいが掲載されています。

【明解、納得、県士会。】を見ることで、県士会活動がより一層理解でき、また県士会活動の面白さに気づけるかも知れません。是非一度コンテンツをご覧になって下さい！

図）【明解、納得、県士会。】
スペシャルコンテンツ 閲覧方法（スマホ Ver.）

▶学術部

（文責：中黒）

学術部主催スキルアップ研修会（身障分野）をオンラインにて開催しました！

6月13日に学術部主催で昭和大学横浜市北部病院の渡部喬之先生から、「新人でもわかる脳卒中患者の作業療法の実践～画像所見から読み解く身体機能や高次脳機能、ADLまで～」と題して研修会を行いました。今回、渡部先生はご自宅から、部員は事務局からzoomを使用したオンラインで開催しました。研修会終了後、30分ほど福利部主催による新入会員オリエンテーションが行われ、県士会理事との交流会が行われました。

渡部先生による講義では、画像所見の読み解き方からアプローチ方法まで丁寧に講義してくださいました。症例の病態をしっかりと把握し、適切なアプローチ・コミュニケーションを取ることは身体機能の向上のみならず、信頼関係を構築する上でも重要であると今回の研修から学ぶことができました。今年度もオンラインを使用した研修会を数多く企画しておりますので、是非ご参加ください！！

― 講義の様子 ―
今回もスタッフのみ事務局に集まり、オンライン配信にて実施しました！！

▶地域包括ケア推進委員会

（文責：国際親善病院　吉田 倫子）

地域からの期待に応える

地域リハビリテーション活動支援事業とは

神奈川作業療法士会（以下県士会）では2015年より横浜市と連携し介護予防事業の一環である本事業に取り組んでいる。流れとしては横浜市各区の保健師や包括職員より依頼を受け、県士会を通じ派遣される。活動の主なものは、事前打ち合わせでしっかりとニーズを掘り下げ、OTの視点や知識・技術の提供により地域の通いの場（元気づくりステーションやサロン）を通じ住民の活動維持・拡大を図るなどである。

今年度で7年目となる本事業であるが、年々『集団』『活動・参加』といった「OTらしさ」ともいえる視点での介入に対するニーズが高まる傾向にある。

2020年はCOVID-19の影響で安全確保の困難さから通いの場の活動休止・派遣見送りが多くあった。2021年は新しい生活様式やワクチン接種の開始もあり徐々に活動を再開している。最近の傾向として通いの場の参加者の多くが高齢者である為、感染予防の自粛によるフレイルが問題視されている。そんな中、今回は5月に支援した地域依頼をご紹介する。

実際の派遣内容

▶依頼内容

①コロナ禍で活動が停滞しているサロンへ介護予防や活動方法の助言

②地域で行っている移動スーパーのアセスメントと助言

③フレイル予防と通いの場の利点から地域包括センター職員や地域支援者に対し効果的な支援内容や地域資源の活用・運営方法の検討・提案

▶打ち合わせでの活動の焦点化と変更

COVID-19の影響で通いの場の活動が不定期となり、屋外活動に限定され外部からの新規参加者の受け入れが難しいと判断された。OTの通いの場への直接的な支援は延期し地域支援者のみを対象とする派遣となった。

地域支援者には、フレイルに関する知識と地域で行われている移動スーパーの可能性についてOTの視点から教えてほしいというものだった。

▶実施内容

フレイルに関しては、社会参加の重要性を中心にデータと共に情報提供し、移動スーパーに関しては『買い物』を活動・作業分析から必要な機能や活動の意味を一緒に考えた。また買い物という活動を通じた介護予防の可能性を伝えた。

全体のまとめ・感想

今回の派遣で、参加者から「買い物の意味を考えさせられた」「いい視点だった。参加できなかった人にも今日知ったことを伝えたい！」と感想をもらった。OTの作業分析やその視点は、地域では発見や感動を与えていた。参加者の「他者と共有したい」という反応に“人は作業をすることで元気になれる”（日本作業療法士協会）のであれば、その元気は連鎖し地域も元気にするかも…と、地域規模でのOTの可能性や地域に出る意味を考えさせられた。私は、この経験をここで共有し地域支援参加するOTの増加・連鎖に期待したい。

▶生活行為向上マネジメント推進委員会

（文責：MTDLP 推進委員会　渡邉 隼人）

会員の皆様におかれましては、日頃より生活行為向上マネジメント（以下「MTDLP」）の普及・推進にご協力いただき誠に感謝申し上げます。

2021 年 6 月に開催した MTDLP 研修会には 60 名以上のご参加をいただきました。
ご都合により参加できなかった会員の方々におかれましては、来年度の研修会に是非ともご参加をご検討いただければと思います。

さて、当委員会では MTDLP 研修会以外に「事例発表会」も企画しております。過去に MTDLP 研修会（基礎研修会）を受講済みの方、および事例発表や事例登録がお済みでない方に改めてご案内させていただきます。

【開催に関して】

オンラインでの事例発表を随時開催

※発表のお申込み後、参加人数が一定に達するか期間を区切り開催いたします。

※参加費用（1,000 円程度）やお支払方法、オンラインの手続きに関してはお申込み後に個別にご案内させていただきます。

【参加条件】

日本作業療法士協会会員かつ神奈川県作業療法士会会員（今年度会費納入済みの方）または他都道府県士会会員で MTDLP 研修会受講済みの方

【ご用意いただくシートに関して】

OT 協会会員ポータルサイト内の生活行為向上マネジメント事例のページから事例登録用の用紙をダウンロードしてご使用ください。

1）生活行為向上マネジメントシート
2）課題分析シート
3）症例に関して簡潔にまとめたレジュメ（A4　1 枚まで）

※お申込みいただいた方には改めて個別にご案内させていただきます。

【申込み方法】

E-mail にて下記の必要事項をご記入の上、生活行為向上マネジメント推進委員会　木村宛にお申込み下さい。

【送付先】

mtdlp@kana-ot.jp

【件　名】

MTDLP 事例発表希望

【本　文】

1）氏名　2）フリガナ　3）OT 協会番号
4）所属士会　5）所属施設名　6）連絡先電話番号
7）連絡先メールアドレス

ご不明な点もメールにて承ります。まずはお気軽に申込みアドレスへご連絡ください。ご連絡心よりお待ちしております。

▶制度対策部　災害対策班

（文責：災害対策班）

今年も、日本作業療法士協会と足並みをそろえ、大規模災害を想定した安否確認のシミュレーション訓練を実施いたします。

発災（予定）日は９月２５日とのことですので、その日以降おおむね一か月の間で以下のリンクまたは QR コードから入力してください。

実際の運用にあたっては自身の安全が確保されてからなるべく早く入力いただくことが望ましいので、このシミュレーション訓練もできるだけ早めの入力をお願いしたいと思います。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

訃 報

椎名 喜美子 先生　2021年6月18日逝去

今年度まで当県士会に所属されていた椎名喜美子先生が逝去されました。

略歴　湯河原厚生年金病院（神奈川県）　都立広尾病院（東京都）
昭和大学医療短期大学・昭和大学（神奈川県）　帝京科学大学（山梨県）
一般社団法人日本ハンドセラピィ学会名誉会員

椎名先生は「手の外科」領域での作業療法の先駆者でもあり、また教育者としても、神奈川県の後進育成にご尽力されました。
謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈り申し上げます。

事務局からのお願い

- **休会される方**　来年度に休会予定の方は、前年の**12月31日**（末日消印有効）までに ①『休会届』と ②『証明書』を 郵送 でご提出願います。**（FAX不可）**。
- **退会される方**　年度内に退会予定の方は、**3月15日**までに『退会届』を ①郵送 又は ②FAX にてご提出願います。**（上記日必着）**。
- **届出内容を変更される方**　住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『変更届』を ①郵送 又は ②FAX にてご提出願います。（随時受付）

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ**公式ウェブサイト**のINDEXより、ダウンロード可能です。
なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落しとなり、返金を致しかねます。

編集後記

あっという間に夏が過ぎ 10 月となりました。私事ですがちょうど 1 年前、205 号のニュースで筋トレを始めたことを載せました。結果はなんと … ＋4kg ！細マッチョくらいになりました（笑）。継続は力なり！何事も続けることが大事ですね！　（まつ）

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース
〈211号〉2021年10月発行（年3回発行）

発行責任者　神保 武則
編集責任者　佐藤 隼
編 集 担 当　出口 弦舞（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科）
山岡 洸（湘南慶育病院）／佐藤 愛（悠の木株式会社）／安田 優子（横浜旭中央総合病院）
丸岡 ちひろ（済生会横浜市東部病院）／松井 洋鷹（渕野辺総合病院）
碇屋 瑛理（佐藤病院）／岩居 洋輝（佐藤病院）
印刷　発送　株式会社髙陽印刷所
事　務　局　〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301 号
TEL/FAX：045-663-5997
月火水木金　10：00～15：00
メールアドレス：jimu@kana-ot.jp
一般社団法人　神奈川県作業療法士会ウェブサイト
https://kana-ot.jp ➡ 作業療法　神奈川　検索
Facebook　https://www.facebook.com/kaotwebkan
Twitter　https://twitter.com/kaotwebkan